

第四回定例会

二十二年
補正予算

第四回定例会は十二月七、八日に開催され、一般会計三億一、〇二六万五千円を追加し特別会計と合わせて三億六、四四七万七千円の追加補正が提案され、議会はこれを原案通り可決しました。

一般会計
三億一、〇二六万五千円の追加

主な内容

- 子育て応援チケット 67万8千円
 - 肺炎球菌ワクチン接種補助金 411万2千円
 - 子宮頸がんワクチン接種補助金 256万8千円
 - 病院事業会計負担金 4,506万1千円
 - 病院事業会計補助金 6,220万9千円
 - 虹別中学校屋体耐震改修工事 5,700万円
 - 除雪対策 1億278万2千円
- 特別会計**
- 国民健康保険事業 115万5千円の追加
 - 下水道事業 38万2千円の減額
 - 介護保険事業 5,343万9千円の追加
- 企業会計**
- 病院事業 1,914万2千円の追加
 - 上水道事業 22万5千円の減額

条例改正

「標茶町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」

町立病院改革プランに基づき、病床数を八五床から六〇床に削減し、診療時間を一五分延長して午後四時四五分までとする等の改正がなされました。

意見書

意見書 第十二号

子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

平成二十三年度予算から導入する子ども手当について「暫定措置」として地方負担約六千億円が盛り込まれましたが、子育て支援は地域の実情に応じ地方自治体が創意工夫を発揮できる分野を地方が担当すべきであり、全国一律の現金給付については国が担当し、全額を負担することを要望するものです。

意見書 第十三号

北海道の自衛隊体制維持を求める意見書

国においては、「防衛計画の大綱の見直し」及び「次期中期防衛力整備計画の策定」に際しては地域の意向に配慮し、本道における自衛隊の体制が維持されるよう要望するものです。

意見書 第十四号

免税軽油制度の継続を求める意見書

これまで経営に貢献してきた免税軽油制度が二〇〇九年の地方税法の改正によって、このままでは二〇一二年三月末で廃止される状況にあります。免税軽油制度は、道路を走らない機械に使う軽油については軽油引取税（一リットルあたり三二円一〇銭）を免税するという制度で、農業用の機械や船舶、倉庫のフォークリフト、重機などに軽油の免税が認められてきました。免税軽油制度は地域全体の経済にとっても、影響を及ぼすことから、制度の継続を要望するものです。



- 田中進
- 黒沼俊幸
- 越善徹
- 伊藤淳一
- 菊地誠道
- 後藤勲
- 林博
- 小野寺典男
- 末柄薫
- 舘田賢治
- 深見迪
- 田中敏文
- 川村多美男
- 小林浩
- 平川昌昭
- 鈴木裕美